

絶滅 雑木

コヤブタバコ

キク科

日本全土の山野の林に生育する越年草。夏から秋にかけて緑白色の頭花をつける。ハナバチ媒花。

【牛久市の状況】 かつては自生していたが、現在では確認されていない。生育に適した環境は市内にも残されており、絶滅の原因は明らかではないが、もともと希少なものであったとも考えられる。今後、周辺地域から種子がもたらされるなどして回復する可能性も残されている。

【類似種】 ガンクビソウ



絶滅 草地 水湿

カセンソウ

キク科

日本全土の水田の周辺など、日当たりの良い湿地に生育する多年草。夏から秋に黄色の花をつけ、その花粉はハナアブ類などにより運ばれる。種子には冠毛があり、風により分散する。

【牛久市の状況】 市内においては過去に記録があるが、現在では見られない。その消失要因は明らかではない。もともと希少な種であり、種子の供給源が絶たれてしまった可能性が高い。

【類似種】 オグルマ

絶滅 草地

ノニガナ

キク科

本州～九州の畦や河川敷などに生育する二年草。春に黄色の花を咲かせる。送粉昆虫はハナアブ、ハナバチなど様々である。種子には冠毛があり、風で分散する。

【牛久市の状況】 1997年頃まで見られたが現在は確認されず、絶滅したとみられる。セイタカアワダチソウなどの外来植物が繁茂したことなどが要因であろう。周辺地域から種子が供給されることも考えられるため、草原の草刈り継続が必要である。

